

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年8月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第50期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】 | 不二精機株式会社 |
| 【英訳名】 | FUJI SEIKI CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 伊井 剛 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪市生野区巽東四丁目4番37号 |
| 【電話番号】 | 06(4306)6820(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役 山本 幸司 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪市生野区巽東四丁目4番37号 |
| 【電話番号】 | 06(4306)6820(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役 山本 幸司 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第49期 第2四半期連結 累計期間 | 第50期 第2四半期連結 累計期間 | 第49期 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 1月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日 | 自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,182,785 | 2,419,453 | 4,718,923 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 64,561 | 114,273 | 31,560 |
| 四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円) | 51,597 | 77,767 | 41,944 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 397,731 | 124,090 | 463,492 |
| 純資産額 (千円) | 1,238,292 | 1,292,549 | 1,389,052 |
| 総資産額 (千円) | 6,208,036 | 6,277,253 | 6,325,603 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額() (円) | 7.39 | 9.18 | 5.67 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | 7.36 | - | 5.65 |
| 自己資本比率 (%) | 19.9 | 20.6 | 22.0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 57,432 | 15,169 | 183,639 |
| 投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 280,646 | 26,273 | 426,354 |
| 財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 27,553 | 9,960 | 52,670 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 911,038 | 887,348 | 881,771 |

| 回次 | 第49期 第2四半期連結 会計期間 | 第50期 第2四半期連結 会計期間 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円) | 0.61 | 2.83 |

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第50期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や金融政策を背景に株価が上昇する等の緩やかな回復の動きが見られました。海外市場においても米国では経済の緩やかな回復が見られる一方で、ロシアとの関係悪化が世界経済への懸念材料となってまいりました。さらに、日本における消費税増税の影響等、景気の先行きに関しては予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比2億36百万円(10.8%)増の24億19百万円となりました。

損益につきましては、PT.FUJI SEIKI INDONESIAの開業に伴い、精密成形品その他事業において原価率が悪化したことなどにより、営業損失63百万円（前年同四半期は営業損失55百万円）、開業費償却を計上したことなどで、経常損失1億14百万円（前年同四半期は経常利益64百万円）、四半期純損失77百万円（前年同四半期は四半期純利益51百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

自動車部品用精密金型の受注が前年同四半期より増加したことなどにより、当セグメントの売上高は、9億40百万円(前年同四半期比4.6%増)となったものの、当該金型の原価率が悪化したことなどにより、営業損失30百万円(前年同四半期は営業損失94百万円)となりました。

<精密成形品その他事業>

自動車部品用成形品の受注が前年同四半期より増加したことなどにより、当セグメントの売上高は、15億90百万円(前年同四半期比23.9%増)となったものの、当該成形品の原価率が悪化したことなどにより、営業損失23百万円(前年同四半期は営業利益41百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5百万円増加し、8億87百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は、15百万円（前年同四半期は57百万円を獲得）となりましたが、これは主として、税金等調整前四半期純損失67百万円及び支払利息35百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は、26百万円（前年同四半期は2億80百万円の使用）となりましたが、これは主として、有形固定資産の売却による収入1億72百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は、9百万円（前年同四半期は27百万円の使用）となりましたが、これは主として、長期借入れによる収入2億50百万円及び長期借入金の返済による支出3億円、社債の発行による収入96百万円及び社債の償還による支出51百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入24百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1百万円であります。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 23,720,000 |
| 計 | 23,720,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年8月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 9,054,000 | 9,054,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 9,054,000 | 9,054,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総数 残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減 額(千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成26年4月1日～ 平成26年6月30日 | - | 9,054,000 | - | 1,034,180 | - | 85,588 |

(6) 【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|---------------|----------------------|---------------|--------------------------------|
| 伊井 壽壽子 | 大阪市天王寺区 | 1,906 | 21.06 |
| ブラザー工業株式会社 | 名古屋市瑞穂区苗代町15 - 1 | 424 | 4.68 |
| 株式会社寿不動産 | 東京都八王子市横川町545 - 6 | 420 | 4.64 |
| 伊井 剛 | 大阪市天王寺区 | 346 | 3.82 |
| 伊井 良江 | 大阪市生野区 | 346 | 3.82 |
| 伊井 幸雄 | 大阪市生野区 | 318 | 3.51 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 240 | 2.65 |
| 日本証券金融株式会社 | 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号 | 236 | 2.61 |
| 不二精機従業員持株会 | 愛媛県東温市田窪41 - 14 | 148 | 1.64 |
| 青森 佳信 | 広島県呉市 | 135 | 1.49 |
| 計 | - | 4,521 | 49.94 |

(注) 当社の保有する自己株式544,279株(持株比率6.01%)は、上記の表には含めておりません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 544,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 8,509,300 | 85,093 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 9,054,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 85,093 | - |

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%) |
|------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|
| 不二精機株式会社 | 大阪市生野区巽東 四丁目4番37号 | 544,200 | - | 544,200 | 6.01 |
| 計 | - | 544,200 | - | 544,200 | 6.01 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 883,703 | 889,317 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,086,744 | 1,075,789 |
| 製品 | 273,193 | 327,900 |
| 仕掛品 | 295,910 | 346,809 |
| 原材料及び貯蔵品 | 98,255 | 102,104 |
| 未収入金 | 303,549 | 213,689 |
| 繰延税金資産 | 43,892 | 33,667 |
| その他 | 76,034 | 107,178 |
| 貸倒引当金 | 4,600 | 4,600 |
| 流動資産合計 | 3,056,684 | 3,091,856 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,039,769 | 965,816 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 834,082 | 771,140 |
| 土地 | 543,445 | 447,035 |
| リース資産(純額) | 123,171 | 120,165 |
| 建設仮勘定 | 23,763 | 41,009 |
| その他(純額) | 261,202 | 396,418 |
| 有形固定資産合計 | 2,825,434 | 2,741,584 |
| 無形固定資産 | 73,745 | 74,109 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 64,954 | 63,381 |
| 繰延税金資産 | 8,962 | 11,413 |
| その他 | 152,556 | 155,456 |
| 投資その他の資産合計 | 226,473 | 230,251 |
| 固定資産合計 | 3,125,653 | 3,045,945 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 15,511 | 16,736 |
| 開業費 | 124,581 | 120,037 |
| 株式交付費 | 3,172 | 2,677 |
| 繰延資産合計 | 143,265 | 139,451 |
| 資産合計 | 6,325,603 | 6,277,253 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 640,688 | 744,977 |
| 短期借入金 | 1,907,584 | 1,672,741 |
| 1年内償還予定の社債 | 102,480 | 122,480 |
| リース債務 | 20,993 | 22,774 |
| 未払金 | 151,020 | 140,526 |
| 未払法人税等 | 15,366 | 6,103 |
| 賞与引当金 | 53,619 | 36,383 |
| 製品保証引当金 | 17,263 | 17,987 |
| その他 | 220,802 | 212,143 |
| 流動負債合計 | 3,129,818 | 2,976,118 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 498,320 | 527,080 |
| 長期借入金 | 1,141,103 | 1,321,995 |
| 長期未払金 | 71 | 3 |
| リース債務 | 100,722 | 92,322 |
| 繰延税金負債 | 30,157 | 28,877 |
| 退職給付引当金 | 3,987 | 5,590 |
| 役員退職慰労引当金 | 14,539 | 14,539 |
| 資産除去債務 | 17,832 | 18,176 |
| 固定負債合計 | 1,806,732 | 2,008,585 |
| 負債合計 | 4,936,550 | 4,984,704 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,021,593 | 1,034,180 |
| 資本剰余金 | 212,282 | 224,869 |
| 利益剰余金 | 77,760 | 7 |
| 自己株式 | 261,849 | 261,849 |
| 株主資本合計 | 1,049,787 | 997,193 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,102 | 6,972 |
| 繰延ヘッジ損益 | 140 | 500 |
| 為替換算調整勘定 | 331,130 | 288,049 |
| その他の包括利益累計額合計 | 339,091 | 294,521 |
| 新株予約権 | 173 | - |
| 少数株主持分 | - | 835 |
| 純資産合計 | 1,389,052 | 1,292,549 |
| 負債純資産合計 | 6,325,603 | 6,277,253 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 6月30日) |
|--|--|--|
| 売上高 | 2,182,785 | 2,419,453 |
| 売上原価 | 1,821,780 | 2,017,371 |
| 売上総利益 | 361,005 | 402,081 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 416,405 | 1 465,349 |
| 営業損失 () | 55,400 | 63,267 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 866 | 484 |
| 受取配当金 | 423 | 267 |
| 為替差益 | 159,109 | 17,949 |
| 仕入割引 | 563 | 517 |
| 補助金収入 | - | 1,500 |
| その他 | 6,569 | 1,444 |
| 営業外収益合計 | 167,531 | 22,162 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,186 | 35,732 |
| 社債発行費償却 | 1,803 | 2,134 |
| その他 | 11,580 | 35,301 |
| 営業外費用合計 | 47,570 | 73,168 |
| 経常利益又は経常損失 () | 64,561 | 114,273 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,378 | 46,982 |
| 投資有価証券売却益 | 950 | - |
| 持分変動利益 | - | 1,470 |
| 特別利益合計 | 2,328 | 48,453 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,036 | 1,388 |
| 固定資産除却損 | 1,808 | 267 |
| 特別損失合計 | 2,845 | 1,656 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 () | 64,044 | 67,477 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,891 | 1,326 |
| 法人税等調整額 | 2,555 | 10,852 |
| 法人税等合計 | 12,446 | 12,178 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 () | 51,597 | 79,655 |
| 少数株主損失 () | - | 1,888 |
| 四半期純利益又は四半期純損失 () | 51,597 | 77,767 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 51,597 | 79,655 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,141 | 1,129 |
| 繰延ヘッジ損益 | 893 | 359 |
| 為替換算調整勘定 | 344,100 | 42,945 |
| その他の包括利益合計 | 346,134 | 44,435 |
| 四半期包括利益 | 397,731 | 124,090 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 397,731 | 122,338 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | 1,752 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 64,044 | 67,477 |
| 減価償却費 | 131,418 | 139,809 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 400 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 12,801 | 16,902 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,289 | 752 |
| 支払利息 | 34,186 | 35,732 |
| 為替差損益(は益) | 145,428 | 2,013 |
| 持分変動損益(は益) | - | 1,470 |
| 固定資産除却損 | 1,808 | 267 |
| 有形及び無形固定資産売却損益(は益) | 341 | 45,593 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 950 | - |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 391 | 1,398 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 41,617 | 32,395 |
| 未収入金の増減額(は増加) | 74,511 | 132,009 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 76,680 | 115,225 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 31,799 | 60,450 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 43,259 | 4,949 |
| 製品保証引当金の増減額(は減少) | 399 | 724 |
| 社債発行費償却 | 1,803 | 2,134 |
| 株式交付費償却 | - | 698 |
| 開業費償却額 | - | 12,751 |
| その他 | 2,273 | 65,842 |
| 小計 | 101,041 | 33,354 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,289 | 752 |
| 利息の支払額 | 34,330 | 38,049 |
| 法人税等の支払額 | 10,568 | 11,227 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 57,432 | 15,169 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 323,463 | 143,160 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 45,598 | 172,339 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,985 | 1,504 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 50,000 | 399 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 39,750 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 4,000 | - |
| その他 | 8,453 | 1,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 280,646 | 26,273 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 153,600 | 3,600 |
| リース債務の返済による支出 | 3,585 | 10,264 |
| 長期借入れによる収入 | 483,500 | 250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 367,364 | 300,430 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | - | 4,058 |
| 社債の発行による収入 | - | 96,640 |
| 社債の償還による支出 | 44,240 | 51,240 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 56,560 | 24,796 |
| 新株予約権の発行による収入 | 1,176 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 27,553 | 9,960 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 77,217 | 15,488 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 173,549 | 5,576 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,084,588 | 881,771 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,911,038 | 1,887,348 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|----------|---|---|
| 給料 | 124,627千円 | 144,450千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 12,358 | 8,127 |
| 貸倒引当金繰入額 | 270 | 30 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 916,173千円 | 889,317千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 5,134 | 1,968 |
| 現金及び現金同等物 | 911,038 | 887,348 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月7日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権の割当を実施いたしました。この新株予約権の行使の結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が30,207千円、資本準備金が30,207千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金978,799千円、資本準備金30,207千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-------------------------|-------------------------|------------|-----------|
| | 射出成形用精密金型 及び成形システム事業 | 精密成形品その他事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 899,082 | 1,283,703 | 2,182,785 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - |
| 計 | 899,082 | 1,283,703 | 2,182,785 |
| セグメント利益又はセグメント損失 () | 94,384 | 41,913 | 52,470 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|--------|
| 報告セグメント計 | 52,470 |
| セグメント間取引消去 | 2,929 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 55,400 |

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-------------------------|------------|-----------|
| | 射出成形用精密金型 及び成形システム事業 | 精密成形品その他事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 829,452 | 1,590,001 | 2,419,453 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 110,914 | - | 110,914 |
| 計 | 940,366 | 1,590,001 | 2,530,368 |
| セグメント損失() | 30,674 | 23,232 | 53,907 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|--------|
| 報告セグメント計 | 53,907 |
| セグメント間取引消去 | 9,360 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 63,267 |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() | 7円39銭 | 9円18銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 51,597 | 77,767 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 51,597 | 77,767 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 6,981 | 8,474 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 7円36銭 | - |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(千株) | 29 | - |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年8月8日

不二精機株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 高田 篤 印

業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。